

『ZAITEN』葛西名誉会長の実態！シリーズ②

珍無類な肩書き、異常なナショナリズム！ 安倍政権の威を借いた葛西氏！

以下は、ピックアップした『ZAITEN』の記事です。順次紹介します。

20年以上にわたってJR東海の独裁者として君臨した挙げ句、14年の会長退任後も「代表取締役名誉会長」という珍無類な肩書きを新設して、「最高権力の座」に居座ってきた葛西氏。…略…

ある関係者は葛西氏の心象風景について「自分ほどの頭脳明晰で優秀な人物が歴史的な偉業（リニア中央新幹線開業と米国への日の丸高速鉄道輸出）を実現しないまま舞台を去るのはおかしいという異常なナショナリズム」と解説する。

（米テキサス新幹線の）建設費だけで120億ドル（約1兆3,600億円）にのぼる資金を本当に民間だけで賄い切れるのか。実際、TCP（テキサス・セントラル・パートナーズという企業）には日本の官民ファンド「海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）」が4,000万ドルを出資している。霞ヶ関では「地元企業の出資だけでは足りない分を、安倍政権の威を借りた葛西氏がゴリ押ししてJOINに支援させた」とも囁かれている。

…略… 鉄道建設資金120億ドルの調達がなおさら難航するのは必至の情勢だ。それでも葛西JR東海が強気の姿勢を崩さない背景には、「いざとなれば、安倍政権による日米共同経済協力を名目にGPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）やJBIC（国際協力銀行）からカネを突っ込めば良いと考えているから」（経済産業省幹部）だという。

…略… むしろ（テキサス新幹線が）失敗すれば、JBICの融資焦げ付きなどを通じて日本国民に多額のしわ寄せが及ぶプロジェクトを安倍政権を使って国策として推進させることに大義があるのだろうか。